

釜石発

島倉千代子さんの歌碑

2013年に亡くなった歌手・島倉千代子さんの楽曲『おかえりなさい』の歌詞を刻んだ碑が、釜石に建てられました。生前、東日本大震災の被害に心を痛めていた島倉さん。犠牲者や行方不明者を悼み、帰ってきてほしいという思いを込めて、この『おかえりなさい』を被災地で歌いたいと考えていました。その思いを知ったファンが寄付を集め、釜石市鶴住居町の旅館・宝来館の敷地に碑を建立したものです。(3/30 ニュースエコー)



大槌発

応援の派遣職員も退職



被災地応援として2012年5月に神戸市から派遣されてきた青木利博さん(64)が、派遣先の大槌町で退職を迎えました。阪神淡路大震災では神戸市の区画整理

を担当し、その経験を生かしたいと大槌町にきた青木さん。都市整備課の課長として復興のまちづくりに向け、人々の声に耳を傾けてきました。青木さんは神戸市に戻り、東南海地震に備え避難計画の策定にあたります。(3/31 ニュースエコー)

大船渡発

コサージュ作り

大船渡市で小学校の新生に贈るコサージュ作りが行われました。コサージュ作りは大船渡市と奥州市のボランティア団体が震災後に始め、内陸から沿岸に贈る形でした。今年は被災地もがんばろうと、大船渡高校の生徒ら150人が製作に参加しました。出来上がったコサージュは大船渡市や陸前高田市など気仙地区23の小学校の新生493人に贈られます。(4/3 ニュース)



釜石・滝沢発

釜石に桜を植える会



被災地の復興のシンボルにと、「釜石に桜を植える会」の植樹が来月から始まります。釜石市に住む中川淳さんは震災直後、桜に励ま

される多くの被災者を目にし、会を立ち上げました。中川さんは『石割桜』の子孫を被災地に植えたいと思い、管理する盛岡地裁の許可を得て、種を滝沢市の森林総合研究所に持ち込みました。今では30本の苗木が育ち、大きいものは1mほどに成長しました。植樹は来月からスタートしますが、石割桜の苗木が植えられるのは、早ければ来年春の予定です。

(4/4 ニュースエコー)

宮古発

田老保育所入所式

津波で全壊した宮古市の田老保育所が高台に移転・新築され、0歳児から5歳児までの45人が、真新しい園舎で入所式と進級式を行いました。



完成した園舎は敷地面積が2680平方メートル、木造平屋建てで、保育室は明るく、広い庭も整備され、電力の一部は太陽光発電でまかっています。また、子どもたちの安全や防犯のため、カメラが設置されていて職員室でモニターできるようになっています。(4/5 ニュースエコー)

陸前高田発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週は陸前高田災害FMの大久保暢子さんが、「奇跡の一本松」の接ぎ木について伝えてくれました。一本松の歌や絵本を作った故やなせたかしさんに名付けられた「奇跡の一本松」の接ぎ木『ケナゲ』が、NPO法人「高田松原を守る会(鈴木善久理事長)」の人たちによって、島根県出雲市の出雲大社に奉納され、3月19日に参道に植樹されたとのこと。(4/6)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122